



障害者が生きる価値とは

～「津久井やまゆり園事件」について考える～

日時:平成 29 年 3 月 26 日(日)14:00～16:30 (開場 13:30)

場所:相模原市立あじさい会館ホール(相模原市中央区富士見 6-1-20)

第 1 部 基調講演「事件の報道について」(14:05～14:35)



講師 ^{さとう}佐藤 ^{みつのぶ}光展氏 (読売新聞社記者、新・精神医療ルネサンス)

第 2 部 パネルディスカッション「事件から 8 か月、思い思うこと」(14:50～15:55)

コーディネーター 現在調整中

パネリスト

佐藤 光展氏 (読売新聞社記者)
堀合 悠一郎氏 (シャロームの家ピアスタッフ)
堀合 研二郎氏 (シャロームの家ピアスタッフ)
榛澤 昌高氏 (あしたば会運営委員)
菅原 文子氏 (けやきの会理事長)
依田 雍子氏 (手をつなぐ育成会会長)



質疑応答 (15:55～16:25)

19 名の方が亡くなり、27 名の方が重軽傷を負った「津久井やまゆり園事件」。この事件の凄惨さに加えて、犯人の「障害者は不要だから死ねばいい」との殺害理由、その意見に同調するようなネットへの書き込み。障害者が存在自体を否定されたこの事件に対して、“障害者が生きる価値とは”について考えたいと思います。

【定員】先着順 358 名 (当日直接、会場にお越しください)

【参加費】無料

【問い合わせ先】

相模原市社会福祉協議会中央ボランティアセンター

TEL 042-786-6181 FAX 042-786-6182

【主催】相模原市精神障がい者仲間の会 (あしたば会)

心の病・引きこもり集いの会 (みんなの里)

相模原市精神保健ボランティアグループ ひびき

【後援】相模原市 相模原市社会福祉協議会 れんきょう やまゆり会

【協力】ボルトナット会 ヴォイス ほーぶ KIVA アナベル

OCDkanagawa ミラクル みどり会 四つ葉会 花の会

相友会 とまとの家 ぼけっと つくいの里 かわせみ会

湘北福祉会やまのべ けやきの会 あすなる会 陽だまり

エヌピーオーかむ

JR 相模原駅からのバス

1 番乗り場 相 05 相模大野駅行「市民会館前」下車

6 番乗り場 相 12 上溝駅行 「市民会館前」下車

